

米の「テロとの戦争」の犠牲者は130万人を超える

2015.9.6.

少し前になるが、今年の3月25日、“Democracy Now” (<http://www.democracynow.org>) に衝撃的な報道が流れた。タイトルは「終わりなき戦争：米軍 ティクリットを攻撃、アフガニスタンの総選挙遅れる、「テロとの戦争」の犠牲者総数 130 万人を超える」(Endless War: As U.S. Strikes Tikrit & Delays Afghan Pullout, "War on Terror" Toll Tops 1.3 Million)

(http://www.democracynow.org/2015/3/26/eternal_war_as_us_strikes_tikrit)

戦争法案の参院での審議が山場を迎えようとしている今、あらためて日本が加担したイラク戦争の結末を知ることは重要である。国会論戦でも指摘されていたが、日本はイラクの地サマワに自衛隊を派遣した。そしてクウェートからイラクまで米・有志連合軍の兵士たちの輸送等を担った。紛れもなく日本はイラク戦争に協力してきたのだ。

しかしその戦争は、石油のための米国の侵略戦争であり、「大量破壊兵器の保有」というウソの理由によって始められたでっち上げの戦争であった。ウソであることは 2004 年に米政府自身が公式に認めている。

以下“Democracy Now” に紹介された犠牲者数をめぐる記事の概要を紹介する。

記事概要

- ・ IPPNW (核戦争防止国際医師会議：1985 年にノーベル賞受賞) の調査では、米軍に戦争によって、イラクでは 100 万人、アフガニスタンでは 22 万人、パキスタンでは 8 万人もの人々が犠牲となった。
- ・ この犠牲者数には、近年のイエメン等での米軍犠牲者は含まれていない。
- ・ この数値は、公式発表、報道によって概算された犠牲者数の 10 倍を超える。
- ・ ”Iraq Body Count” (<https://www.iraqbodycount.org>) の組織による評価では、8 月末現在までの犠牲者総数は 14 ～ 16 万人強であり (記者補足)、この評価と比べても格段に多くの犠牲者数である。これは手法の違いに基づいており、“Iraq Body Count” による死体安置所での遺体数、爆弾、爆撃、銃撃等報道された犠牲者数、これら以外の侵略による全影響による犠牲者評価している。
- ・ 100 万人を超える数値は大きいと思われるかもしれないが、UNICEF からの 2000 年に発表された乳児死亡率の急上昇の報道糖を勘案すると矛盾するものではない。
- ・ その他の、イラクにおける米軍の数々の戦争犯罪告発については割愛

あわせて、イラクへの米軍に侵略による犠牲者評価に関しては、イラク特措法が議論された当時の記事『イラク戦争の民間人犠牲者が 100 万人を超える！ 日本はいつまで破壊と殺戮に協力するつもりなのか？』(署名事務局)を参照のこと。

また、上記“Iraq Body Count” を見てあらためて驚かされた事がある。なんと、2013 年以降、イラクにおける民間人犠牲者が再び激増しているのである。これは、ISIS 攻撃を名目に空爆、地上攻撃を強化していることを反映している。今もなお、イラク侵略の犠牲者は拡大してののである。その始まりは、日本も加担したイラク侵略戦争にある。(Q)